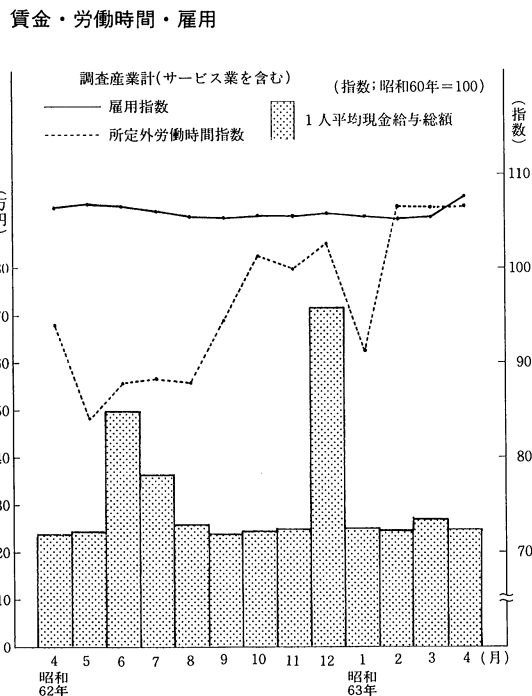
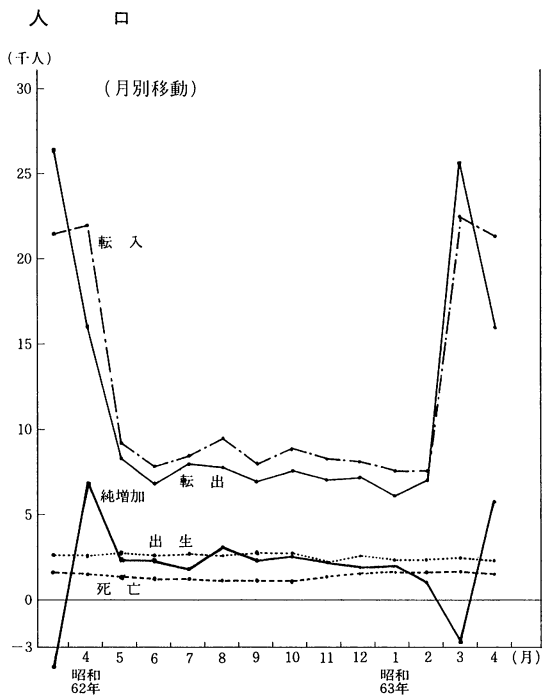
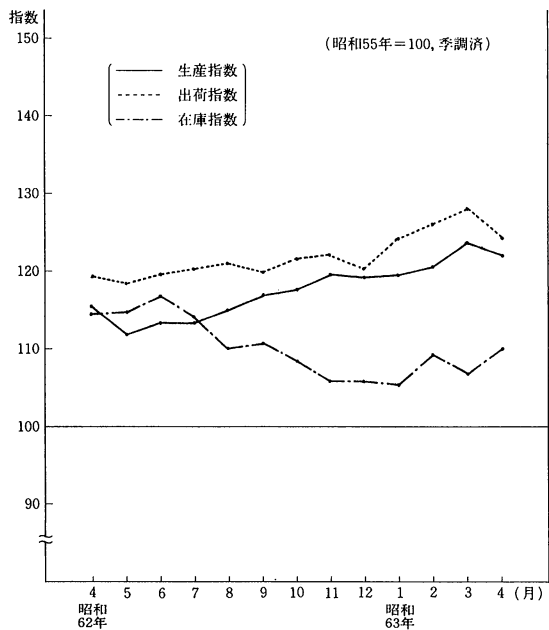


●今月の主な動き

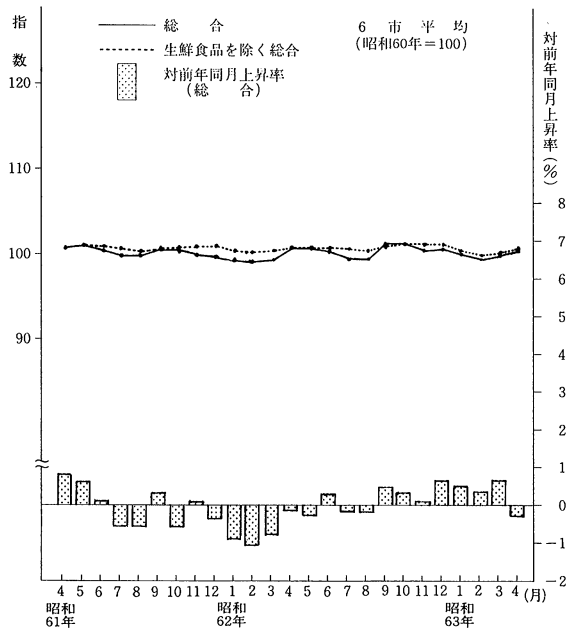
今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (5月1日)

本県の人口は、4月中に5,837人増加し、5月1日現在で2,783,294人(男1,386,995人,女1,396,299人)となった。

内訳は、自然動態で818人(出生2,367人,死亡1,549人)、社会動態で5,019人(転入21,145人,転出16,126人)、それぞれ増加した。昨年5月1日現在と比較すると、数で25,158

人、率で0.91%の増加である。

市町村別では、増加が17市38町村、減少が3市28町村、増減なしが2村である。

世帯数についても、5,814世帯増加して、791,141世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (4月)

1. 平均賃金の推移

4月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は246,330円で前月に比べ7.8%減(前年同月比4.6%増)であった。

このうちきまって支給する給与は243,630円で前月に比べ0.9%増(前年同月比4.2%増)であり、特別に支払われた給与は2,700円で前年同月に比べ1,086円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は187.5時間で、前月に比べ5.2%増(前年同月比1.9%増)であった。

このうち所定内労働時間数は168.6時間で、前月に比べ6.0%増(前年同月比0.8%増)であり、所定外労働時間数は18.9時間で、前月に比べもちあい(前年同月比13.3%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると107.6で、増減率は前月に比べ2.3%増、前年同月に比べ1.1%増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (4月分)

本県における昭和63年4月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が122.1、出荷が124.4、在庫が110.0で前月比は、生産が△1.5%の低下、出荷が△2.9%の低下、在庫が2.9%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が5.6%の上昇、出荷が4.4%の上昇、在庫が△3.9%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、精密機械工業、鉱業、輸送機械工業等が上昇し、鉄鋼業、木材・木製品工業、金属製品工業等が低下した。出荷では、精密機械工業、鉱業、鉄鋼業等が上昇し、一般機械工業、化学工業、石油・

石炭製品工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品、木材・木製品工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、精密機械工業、鉱業、金属製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、資本財、非耐久消費財が上昇し、耐久消費財、建設財、鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、建設財、非耐久消費財が上昇し、耐久消費財、その他用生産財、鉱工業用生産財等が低下した。在庫では、その他用生産財、資本財等が上昇し、建設財、耐久消費財が低下した。

■ 消費者物価指数 (4月)

昭和63年4月の茨城県消費者物価指数は、総合で100.6(昭和60年=100)となり、前月比0.4%の上昇、前年同月比△0.2%の下落となった。

今月上がった主な項目……シャツ・下着6.6%、上下水道料3.4%、授業料等3.0%、衣料2.6%

今月下がった主な項目……野菜・海草△2.3%、電気・ガス代△0.8%、他の光熱△0.6%

生鮮食品を除く総合は100.8となり前月比0.5%の上昇、前年同月比△0.1%の下落となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	100.6	0.4	△0.2	保健医療	102.8	△0.1	△0.2
食 料	99.4	△0.1	△0.6	交通通信	100.1	0.0	△1.2
住 居	107.1	0.5	2.8	教 育	113.0	2.6	2.7
光熱・水道	88.1	0.0	△2.0	教養娯楽	101.9	0.4	0.1
家具・家事用品	99.0	0.1	△0.6	諸 雑 費	102.9	0.0	△0.1
被服及び履物	102.3	3.1	0.3	生鮮食品を除く総合	100.8	0.5	△0.1